



計画の実施状況

( 特別管理産業廃棄物の種類 : )

有償物量

不要物等発生量

排出量

自ら直接  
再生利用した量

自ら中間処理した後  
再生利用した量

自ら直接埋立処分した量

② [ ] t

⑧ [ ] t

① [ ] t

③ [ ] t

自ら中間処理  
した量

自ら中間処理した  
後の残さ量

自ら中間処理した後  
自ら埋立処分又は  
海洋投入処分した量

④ [ ] t

⑥ [ ] t

⑨ [ ] t

④のうち熱回収  
を行った量

自ら中間処理により  
減量した量

⑤ [ ] t

⑦ [ ] t

直接及び自ら  
中間処理した後の  
処理委託量

⑩のうち再生利用業者  
への処理委託量

⑫ [ ] t

⑩のうち熱回収認定  
業者への処理委託量

⑬ [ ] t

⑩のうち熱回収認定  
業者以外の業者  
への処理委託量

⑭ [ ] t

⑩ [ ] t

⑩のうち優良認定  
処理業者への  
処理委託量

⑪ [ ] t

項目	実績値
①排出量	t
②+⑧自ら再生利用を行った量	t
⑤自ら熱回収を行った量	t
⑦自ら中間処理により減量した量	t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	t
⑩全処理委託量	t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	t
⑫再生利用業者への処理委託量	t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t

(第3面)

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「特別管理産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の特別管理産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
  - (1) ①欄 当該事業場において生じた特別管理産業廃棄物の量
  - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
  - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分した量
  - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした特別管理産業廃棄物の当該中間処理前の量
  - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
  - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
  - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
  - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
  - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
  - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
  - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
  - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
  - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
  - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 特別管理産業廃棄物の種類が2以上あるときは、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前々年度及び前年度における特別管理産業廃棄物の排出量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第2条の4第5号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）並びに電子情報処理組織使用義務者にあつては前年度に実施した電子情報処理組織の使用に関する取組（情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第8条の31の4に該当したときは、その旨及び理由を含む。）について記入すること。
- 8 ※欄は記入しないこと。

【 】年度特別管理産業廃棄物処理計画実施状況（特別管理産業廃棄物の実績の量）

（単位：t）

特別管理産業廃棄物の種類	排出量 （※）	自社内処理									委託処理					
		①	②	③	④	⑤	⑦	⑥	⑧	⑨	②+⑧	③+⑨	⑩の委託量の内訳（重複する場合もあり）			
													⑩	⑪	⑫	⑬
①	②	③	④	⑤	⑦	⑥	⑧	⑨	②+⑧	③+⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	
	自ら直接再生利用した量等を含めた事業場における特別管理産業廃棄物の合計量	中間処理をせず自ら直接処理した量		自社内で中間処理する前の量		④の量から⑥の量を差し引いた量	中間処理した後の残さ物量	自社内で再生利用する量、又は他人に売却した量				自社内で処理を行わず直接委託した量と⑥のうち処理業者に委託して処理する量	優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）	中間処理後、有効利用されている場合の委託量（委託先から別の業者に売却等される場合を含む。）	認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）	認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
廃油																
廃酸																
廃アルカリ																
感染性廃棄物																
特定有害産業廃棄物																
廃PCB等																
PCB汚染物																
PCB処理物																
廃石綿等																
汚泥																
有害金属等を含む																
鋳さい																
廃油																
廃酸																
廃アルカリ																
燃えがら																
ばいじん																
合計																

※ 排出量①=②+③+ (④-⑥) +⑧+⑨+⑩

【記入上の注意】

・記入にあたっては、本様式の（第3面）備考の4を参照してください。